

承認番号：NDU-T2021-05

研究課題名：外科矯正治療における治療予測の精度検証

主任研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・准教授・宇塚 聡

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・助 教・水谷匡佑

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・レジデント・小宮瑠夏

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・レジデント・内川菜摘

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・准教授・宮下 渉

## 1. 研究概要

### 1) 研究の意義：

骨格の不調和を改善するために実施される外科矯正治療では施術後の予測により処方が決定するために、治療の開始前に精度の高い治療後の予測が求められますが、治療の途中過程については予測することが困難なものもあります。なかでも、手術直前では手術後に咬合が改善することを想定しているために、初診時よりも咬合が不安定となったり、骨格の不調和が強調された顔貌を呈することから、例え治療中の一時的な現象であったとしても、その時の顔面形態を可能な限り正確に予想することは患者さんの利益につながると考えます。

### 2) 研究の目的：

外科矯正治療では治療計画を決定するために、治療の開始前に精度の高い治療後の予測が求められます。そこで、本院では治療前の検査資料から治療の途中経過時を含めた頭蓋顎顔面形態の予測精度について精査することにより、さらに安全で効率の良い治療方法を確立したいと考えています。

## 2. 研究方法

1) 研究対象者：2015年1月～2025年12月に当院で外科矯正治療を受けられた方

2) 研究期間：2021年 6月21日から 2027年 6月20日まで

3) 方法：治療開始前におけるレントゲン写真等を用いて治療計画に応じて想定される上下の口唇などの軟組織形態と、治療途中や治療後に撮影した実際のレントゲン写真等を比較します。

4) 使用する試料・情報の項目：

使用する資料については被曝を伴う検査もありますが、通常の診療の中で採取した資料を分析しますので、本研究のために特別に採取する資料はありません。

使用するデータは以下の資料です。

- ・頭部エックス線規格写真
- ・医科用CT
- ・オルソパントモグラフィ
- ・顎関節エックス線写真
- ・顔面写真
- ・口腔内写真
- ・口腔模型

#### 5)情報の管理方法と保護：

本課題はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則および臨床研究に関する「人を対象とする医学系研究倫理指針（平成26年施行 平成29年一部改正）」を遵守して実施します。患者さんの個人情報の取り扱いには十分に注意し、関連する法規制等を遵守して、漏洩、紛失または不用意な開示などが為されないように個人に関する情報を匿名化します。

### 3. 研究に関する問い合わせ・連絡先

氏名：宇塚 聡

連絡先：日本歯科大学附属病院矯正歯科

〒102-8158 東京都千代田区富士見 2-3-16

Tel：03-3261-5511、Fax：03-3261-3924